

九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻

修了生アンケート調査

令和4年11月

医療経営・管理学専攻 ステークホルダー調査会

## アンケート調査の概要

### 【調査の目的】

本調査は、本専攻修了生及び修了生が所属している機関の上司を対象にアンケート調査を実施し、本専攻の教育効果と教育に求められる要望を把握することで、今後の教育改善に資することを目的とする。

### 【調査方法】

修了生及び修了生が所属している機関の上司を対象に、メールにて調査協力依頼を行い、ウェブ調査を実施する。

### 【調査対象修了生】

本専攻を修了した修了生。

### 【調査対象機関】

本専攻を修了した修了生が所属している機関。

### 【実施期間】

2022年8月1日～2022年9月30日

### 【実施主体】

九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻ステークホルダー調査会。医学系学府医療経営・管理学専攻、医系学部等事務部学務課大学院係から構成される調査会を設置した。構成員は下記の通り。

---

医療経営・管理学専攻	専攻長・教授	鴨打	正浩
医療経営・管理学専攻	教授	馬場園	明
医療経営・管理学専攻	准教授	鮎澤	純子
医療経営・管理学専攻	准教授	福田	治久
医療経営・管理学専攻	准教授	松尾	龍
医療経営・管理学専攻	助教	入江	芙美
学務課大学院係	係長	城戸	陽一

---

## アンケート調査票

### 【本専攻修了生アンケート調査項目】

- Q1. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の教育内容は役に立ちましたか？
- Q2. 本専攻の教育プログラムについてご意見等がありましたら記載してください。
- Q3. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の講義内容は役に立ちましたか？
- Q4. 本専攻の講義内容についてご意見等がありましたら記載してください。
- Q5. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の演習は役に立ちましたか？
- Q6. 本専攻の演習についてご意見等がありましたら記載してください。
- Q7. 本専攻には今後どのような教育が求められるとお考えでしょうか？ご意見等がありましたら記載してください。

### 【本専攻修了生所属機関上司アンケート調査項目】

- Q1. 医療経営・管理学専攻修了生に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？以下のイメージについてお答えください。
  - A. 利害関係者の多様な利害を調整し、コンセンサスを得るプロセスを担うことができる。
  - B. 根拠をもとに、周囲のスタッフと現場の認識を共有し、改善に向けた共同作業を行いながら、自身も組織も成長することができる。
  - C. 医療を通して社会へ貢献したいという意欲をもっている。
  - D. 患者、職員が納得した医療を届けるための仕組みを提案することができる。
- Q2. 業務に必要な専門性という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？
- Q3. 業務に必要な的確で総合的な判断力という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？
- Q4. 新しい分野を開拓するための創造性という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？
- Q5. 本専攻にどのような教育を期待されますか？身につけてほしい能力や経験してほしい事柄に関して、お考えなどございましたらご記載ください。

## アンケート調査結果

### 【本専攻修了生アンケート調査回答者】

回答者数 106 名/修了者数

回答者所属機関内訳

	人数	割合
病院・診療所	55	52%
(うち大学病院)	(10)	(9%)
大学	13	12%
研究機関・公益法人等	7	7%
医療関連機関	7	7%
会計事務所等	6	6%
コンサルティング等	5	5%
行政機関	2	2%
その他	2	2%
記載なし	9	8%

### 【本専攻修了生アンケート調査結果】

Q. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の教育プログラムは役に立ちましたか？

	人数	割合
そう思う	81	76%
ややそう思う	25	24%
あまりそう思わない	0	0
思わない	0	0
わからない	0	0

教育プログラムに対する意見: 30 名

Q. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の講義は役に立ちましたか？

	人数	割合
そう思う	74	70%
ややそう思う	31	29%
あまりそう思わない	1	1%
思わない	0	0
わからない	0	0

講義に対する意見: 25 名

Q. 業務に必要な専門性から見て、本専攻の演習は役に立ちましたか？

	人数	割合
そう思う	76	72%
ややそう思う	27	26%
あまりそう思わない	3	3%
思わない	0	0
わからない	0	0

演習に対する意見: 33 名

Q. 本専攻には今後どのような教育が求められるとお考えでしょうか？ご意見等がありましたら記載してください。

今後の教育に対する意見: 55 名

#### 【結果のまとめ】

本アンケートに回答した全ての修了生は、本専攻の教育プログラムは業務に必要な専門性から見て有用と回答した。さらに、その約4分の3は有用性を高く評価していた。一方、わずかながらも、本専攻の講義(1%)、演習(3%)は業務に必要な専門性から見て、あまり有用と思えないとする意見も見られた。有用でないと回答した者はなかった。

本専攻の教育について、自由記載で意見を求めたところ、プログラムに対し 30 名、講義に対し 25 名、演習に対し 33 名から意見が得られた。ほぼ全てが、本専攻の教育内容を高く評価し、有用性について記載したものであったが、一部要望も含まれていた。また、今後の本専攻に対する教育プログラムについては、55 名から意見が得られた。これらの意見を参考に、今後の教育課程を改善していく。

【本専攻修了生所属機関上司アンケート調査回答者】

回答者数 16 名

【本専攻修了生所属機関上司アンケート調査結果】

Q. 医療経営・管理学専攻修了生に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？以下のイメージについてお答えください。

A. 利害関係者の多様な利害を調整し、コンセンサスを得るプロセスを担うことができる。

	人数	割合
そう思う	6	38%
ややそう思う	9	56%
あまりそう思わない	0	0
思わない	0	0
分からない	1	6%

B. 根拠をもとに、周囲のスタッフと現場の認識を共有し、改善に向けた共同作業を行いながら、自身も組織も成長することができる。

	人数	割合
そう思う	11	69%
ややそう思う	4	25%
あまりそう思わない	0	0
思わない	0	0
わからない	1	6%

C. 医療を通して社会へ貢献したいという意欲をもっている。

	人数	割合
そう思う	13	81%
ややそう思う	2	13%
あまりそう思わない	0	0
思わない	0	0
わからない	1	6%

D. 患者、職員が納得した医療を届けるための仕組みを提案することができる。

	人数	割合
そう思う	7	44%
ややそう思う	7	44%
あまりそう思わない	1	6%
思わない	0	0
わからない	1	6%

Q. 業務に必要な専門性という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？

	人数	割合
ある	7	44%
ややある	4	25%
あまりない	0	0
ない	0	0
分からない	5	31%

Q. 業務に必要な的確で総合的な判断力という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？

	人数	割合
ある	9	57%
ややある	3	19%
あまりない	0	0
ない	0	0
分からない	4	25%

Q. 新しい分野を開拓するための創造性という観点から見て、医療経営・管理学専攻の修了生を採用したいと思われませんか？

	人数	割合
ある	6	38%
ややある	6	38%
あまりない	1	6%
ない	0	0
分からない	3	19%

## 【結果のまとめ】

所属機関の上司に本専攻の修了生に対する印象を尋ねたところ、「医療を通して社会へ貢献したいという意欲をもっている」(81%)、「根拠をもとに、周囲のスタッフと現場の認識を共有し、改善に向けた共同作業を行いながら、自身も組織も成長することができる」(69%)、「患者、職員が納得した医療を届けるための仕組みを提案することができる」(44%)、「利害関係者の多様な利害を調整し、コンセンサスを得るプロセスを担うことができる」(38%)の順で同意の割合が高かった。「ややそう思う」も入れると88-94%に達し、「思わない」は0%であった。所属機関の上司からは、修了生はおおむね本専攻の学修目標に到達していると評価されていると思われた。

本専攻修了生の採用希望について尋ねたところ、多くが採用したいと回答し、その観点としては、「業務に必要な的確で総合的な判断力」(57%)、「業務に必要な専門性」(44%)、「新しい分野を開拓するための創造性」(38%)の順で割合が高かった。「ある」、「ややある」を合わせると、それぞれの観点から採用したいとの意見は69-76%に達した。一方、「分からない」も19-31%に見られたが、本専攻の修了生を採用したいと思わないとの回答はなかった。これらの意見を、今後の教育課程の改善に活かしていく。